

(ご意見欄)

「男女共同参画」について、普段感じていることをご自由に記入してください。

●各区の常会長・区長などの役職は、昔から男性が選ばれることが当たり前になっている状況がある中で、女性も男性がする仕事と考えている方が多くいらっしゃるせいか行事や会議等の参加者は、男性中心になっている。

参加している女性は、裏方が多い。

●女性が男性に甘えている部分がある。男女共同参画を願うのであれば、女性も男性も同等の仕事をすることも必要である。子育て中の家庭（特に公務員－教員・市職員）優遇されている。1人につき3年育休を取って前のポストに戻れることを当たり前だと思わないでほしい。企業で3年も休めば、前のポストには早々戻れない。

●私自身、「女だから」「女のくせに」と言われることがイヤでした。（今もですが）一時は紅一点の職場で男性同じ仕事（力仕事等）もやってきました。くやしい思いもしました。（体力の差や技術の差ではかありません）

男女平等は良い事だとは思いますが、全てあてはめるのは無理！！家庭においても、男性の役割、女性の役割があり、それぞれを尊重し、支えあう気持ちが一番と思います。お互いをもって気持ちがなければ成り立たないと思う。

うまく表現できませんが、これからの未来が少しでも良くなることを願っています。

●地域の行事にもっと女性が活躍できるような環境が欲しいと思っています。高齢化に伴い厳しい現状ではありますが、参加しやすい施策を推進できるよう協力できる場があってもよいかと思っています。

●社会的には、現状女性中心に回っていると考えているため、このアンケートの意味をあまり理解できない。一方で子育てに対する支援活動は、もっと充実すべき内容であると考え。なぜなら、各地の施設に預けられている子どもたちは、そうした親の教育や経済力の無さからやむを得ず預けられ、自立までの後押しを受けなければならないからである。女性中心に世界が回らなくてはならない現状は、少子高齢化から子どもを育てる大人の減少、働き手の減少と問題を多く抱えてしまったことによる、子どもを育てる時間の減少が原因であると私は考えます。

●理想的な考えだと思うけど、会社のトップが率先して実行しないと絵に描いた餅だと思う。すごく前から「男女共同参画」を耳にしていますが、私の周りにはたいして変わっていないというのが実感。IT企業や先端のベンチャー企業は、若い社長で、男女平等で働き方も自由で、「男女共同参画」を実行しているイメージがありますが……。外国とかも……。

「女性が活躍する社会」という観点から言うと、女性は子どもを産み育てるといふ一番大切な仕事があるのだから、働く時間帯や休みなど、もっと優遇して欲しいと思います。女性が引け目を感じることなく、安心して子どもを産み育てながら働ける社会環境を整えて欲しいです。

- 男女共同参画等、千曲市は他の市を真似せず、独自の研究をすべき。それには税金を投入してください。
- 理想と現実は違うのですが、女性の場合、子育てが終わり子どもが独り立ちし、ある程度年齢を重ねた状態で、あくせく働かなくても収入に余裕のある方なら活動できるのではないかと思います。
- このようなアンケートにしても、何%女性関わっているのか知りたいです。アンケートに答えながら、女性として疑問や憤りを感じる人が多いです。男性が中心に作っていると感じる人が多いです。女性の立場に立って作っているならもっと違った観点になる気がします。
- 私の住んでいる地域は、あまり男女差がなく居心地の良い土地と思っています。大まかですが56年になりますが仲良く生きており、幸せ感があります。
- 調査アンケートは、できる限り若い世代の方に実施していただいた方が効果的かと思います。
- ・昔の人（老人）にはなじめない言葉。もうちょっと違った表現方法がないものか？
 - ・国の方で、賃金や産前産後の補助、介護の補助等もっと予算をつけるべき。
 - ・産め産めというだけで、保育所の数等、受け入れができないから安心して子ども産めない。北欧のように人口問題を手厚くしないと人口は増えない。
 - ・女性自身が社会へ出て強く生きる心構えができていない。もっと自信を持って生きるよう社会が後押しした方が良い。
- ・性差についての理解が少ない。（議論に際し）
 - ・女性の権利・利点という点に重点が置かれがち。
 - ・家族構成が急速に変わり（3世代家族→核家族→個人）、社会や企業のシステム・仕組み・ルールがその変化に追いつけていない。時代にそぐわなく、困っている家族、個人が増えていると感じる。
- 世代にもよるとは思いますが、まだまだ男は仕事、女は家庭という意識が男性にはあると思います。共働きでも結局子どものことは母親の仕事になってしまう。そのつど”お願い”しないと協力してもらえないのは疲れます。

少しずつでも全てのことが男女平等になっていけば、子どもも増えてくるのかな？とも思います。
- 男女平等と言っても男女の違いによる本質的な男女の良さは失いたくない。男らしさ、女らしさも生かしてゆきたい。男性女性に対する尊重、尊敬はお互い持っていたい。
- 現在は、子育ても終わり、会社勤めも終わっているのでわかりません。（80歳以上）
- 私は、子育ても終わり、仕事もやめた年代です。何事も教育が大事だと思います。→家庭・学校・地域社会 他
- このようなアンケートをとってもムダだと思う。変わらない。
- コミュニケーションの充実が重要と考えています。

●私は、男女共同参画コミュニケーターをした、県がスタート時より全体の活動がにぶっている事を感じるが、社会の男女コミュニケーター活動が活発になったからと思うが、国県市の指導者の熱意の問題もあると感じる。

久しぶりに「男女共同参画」についての話が、このアンケートが来た。

今後多くの会議行事等で「啓蒙」する事を県民市民で議題にすべきである。この意識調査に期待する。

●子どもの学校の行事や役員は、現在母親がほとんど行ったりやったりしていますが、もっと父親が参加していくべきだと思う。そうすれば女性も働きやすいし、負担も減り平等になっていくと思う。(学校の役員の負担等ももっと減らしてほしい。PTA活動は強制ではないのに、入学したら強制になっているのもおかしい。やりたい人、やれる人でやってほしい。)

それから、地域の役員に対してもやる事が多すぎ！！

家庭の中でも男の人が非協力的だと結局女性の負担が増える。子育て中は特に大変。定年した家庭にお願いするなどいろいろ対策を考えてほしい。

●まずは、”意識の改革”でしょうか。また、それに向けた取り組みも重要ではないでしょうか。

女性が管理職になりたがらない、結婚と同時に退職すれば良い(寿退社)といった女性側の意識も同様です。

●男は男の仕事、女は女の仕事があるなかで、平等はない。男の収入が減ったのは、女の社会進出。子どもも減ったのは女の社会進出。気づくべきだと思う。小泉首相が民営化してから不況が始まったことを忘れてはいけない。

●男女共に同等に働くことができる事を当たり前にしてほしい。(賃金などの面も)子どものことは、どちらかといえば母親の仕事の部分がまだまだあると思う。

法律や条例などもっと分かりやすく周知できるように広めてほしい。

●男女が男女共同参画社会を実感するには、会社など勤務先を通じていくのが必要と思う。行政から事業所に対しての施策が重要ではないか。また、地域防災も男性は消防団、女性は赤十字など炊き出し、食料担当といった役割の固定化がされており、慣習、しきたりの排除、新しいシステム・体制の切り替えが必要ではないか。

●男性だからできること、できないこと。女性だからできること、できないこと。があると思うので、何でもかんでも男女平等をうたうのは、どうかと思う。

●年代ごとにまだまだ男女の差別を感じることもある。難しい課題だと思う。

●男女という括りではなく、その人の適性、意欲を重視した参画の在り方を検討するのも大事だと思います。

●誰かがこれをやらなくてはならないという固定観念はいけないと思う。できる人、やりたい人はいるのでありがたい存在だ。何事も人任せではいけない。協力が大事だ。

●私（69 歳）の時代は、子どもが小さい間は母親が子育てするのが当然みたいな時代でしたが、3 人の息子たちを見ていると共稼ぎで協力し合って子育ての最中で、今の子育て中の親は大変で良くやっているといます。ますます少子化になっていく今、日本の未来のために、男女関係なく知識を身につけ、就きたい仕事に就き、子育ては安心して子どもを産めるように、国、職場、地域皆でバックアップしていかないと大変なことになると思います。

介護もそうですが、私も死ぬまで体を働かせ、若い人たちに迷惑かけないようにしたいと思っています。

●時代に即した問題であると認識するが、私どもの世代では、自分を変える難しさはありますが、もっとスピードアップがあって世の中を変えていく勇気と努力が必要と考えます。私は 75 歳の男性です。

従来の中でのあり方が良い・・・ということはなく、時代時代に即した生き方を操り、そのためのリスクはありますが、一人一人の意識をもっと勇気を持って、流れに乗っていけるようにする事が大事と思う。

そのため、行政もその後押しできるシステムを構築すべきと考えます。しかも誰にも理解しやすい言葉と、スタッフの養成が大切と考えます。

●いろいろ手を変え、品を変え取り組んだとしても世代が変わらないと、何をしても変わらないと思う。実現には時間がかかる。ただ、やりました。やっています。でもなかなか浸透しません。で終わると思う。

○印が多いことを取り組むのか？それより賛成が多くない少ない意見で、これはというもの、職員の意見で進めたらどうですか。何をしてもいろいろケチをつける市民はいま

す。
あたってくださるので、何か奇抜なことをしてみてください。市民から苦情がきたらその時はその時、びくびくしないで、市民の代表としてやってみてください。大体文句を言う人に限って、表には出てこないんだから。

●男女共同参画といっても、まだまだ不平等だと思っています。出産、育児の後の社会復帰がしにくい。正社員じゃないと制度が使えない。育児休暇明けの人（期間が決まっている）じゃないと子どもを保育園に入れにくそう。あずけて、パート等を探そうとするのは難しそうなイメージ。

●近年、千曲市は男女共同参画に積極的に取り組んでいると感じられ、すばらしいことだと思います。女性区長や男性日赤奉仕団長も当たり前な時代となる日を期待しつつ、私も男女共同参画の意識を持ち続けてまいります。

●私の会社には、若い人がいないので男女共同参画と言われても、他人事のような感じ

です。若い人の考え方とは、だいぶ意識の差があると思います。
●男、女 どちらでもできる人が参加したり、行ったりできる環境づくりが大事だと思う。

●男女平等を目指すことは、平等から離れていく事だと思います。知性が高まるにつれ、自分ではできない事への意識は下がる傾向があると思うからです。

誰かが斡旋した役職に平等はあるのでしょうか？

女性が社会的に弱者だから支援をしなければいけないという考えに、この国や自治体は崩壊へ向かうと思います。

悪しき風潮や体制は崩壊すべきかもしれませんが、その悪しき物が支えていた物事にも目を向けるべきです。

物事は常に反対の物事を引き起こすのですから、女性を支援すれば男性は差別意識を覚えます。

男女ではなく、人として一括りに考え、長けた所を負担しあう、そして支え合い感謝しあう社会を目指すべきだと思います。

●男女共同参画社会を推進していく事は必要な事だが、ただ議論するばかりで市議員は真剣にやっているとは思えない。議員はもっと汗を流すべきだ。

●若者と年寄りの考えがまだまだちがう。年寄り”むかし”の考えが強い。自分もそういうところがある。

●公務員、大手企業の話だなというのが正直なところ。小規模な職場では、実際には産休などで離れてしまえば戻るのは難しく、職場側でも席を取っておく余裕はないのが現状で、身体的に違う男女が差別、区別なく同じように社会に参加するのは大変なことだと感じます。

ちがいを認め合いながら、よりよい社会になるために取り組むことは大事だと思うので、今後も考えていくことは大事だと思います。

制度はあるけど、空気をよんで、辞めなければという声がなくなるようになるといいのですが。一度やめた女性が正社員で採用されるのは、大変です。

●何事においても、男女積極的な参画が絶対条件だと思う。

●男女共同参画はとても大切であると感じます。同時に女性としての責任（今まで男性に頼ってきたこと）も同時に生まれてくるはず。今までの甘えは無くならないと本当の意味での男女共同参画とはいえないと思います。

●今の時代は、賃金が低すぎる。格差がありすぎ。女性の賃金も昔と比べても今の方が安いと思う。今の日本のあり方では、若い人が将来に夢が持てないと言っている。

●共同参画は大変良い事だと思います。

地区の役員の名簿等を見ると、女性の氏名が見当たらないのが残念です。

小学校などでも低学年は女性の先生、高学年は男性の先生が担任になると聞きます。そういうことはどうしてだろうと思います。

●女性議員の数ばかり増えても質が悪ければ口先だけの人になってしまう。幅の広い知識と見識を持った議員（男も女も）が出てくることを期待している。一市民の願いである。

●女性を管理職に、議員に、と言われているが、その力もないのに「女性だから」という数合わせのために入れるのは反対である。能力が十分にあり、その立場に立った人が女性であったとする方が自然だろう。反対に「男性だから」という理由で減ってしまうのも避けなければならない。

女性に対しての手立ても必要だが、同時に男性に対しての手立ても必要だが、後者の方への関心は少ない。

男性が悪者のような風潮さえある。また性別によらないこともLGBTへの理解につながるのでは。

そもそも女性・男性と分けていることそのものが、時代に合わなくなってきている。

●現職場は、海外出張、残業、海外出向ありきの状態となっており、女性は補助的な業務という位置づけです。家庭を重視する事は、職場のメインから外れるという事を意味し、女性には厳しいと思います。

こういった実態と理想をどうやってマッチさせていくか、何から考えていけば良いのか・・・と思います。

●職場では、女性の方が役職が上がりにくかったり、そもそも役職をつけてもらえないという方もいるので、仕事をしていると特に男女の格差を感じることが多い。

●人口の減少により、女性の意見を多く聞き、計画的な家庭設計を立て、人口の増加に期待したい。

●子育てにより、女性のキャリアが途切れてしまう現状があり、不安があります。女性のキャリアアップについて、環境を整備し、安心して子育てができる社会に向かってほしいです。よろしくお願いします。

●中小企業と呼ばれる方々、公務員等それぞれ関係ある人は考えることもあると思うのですが、一個人では何ら必要性もなく、聞かれればこうかなと答えるだけのものではないです。

これからの若い人たちは積極的に行動し、女性であつてもできる限り世の中の上に立ち、意見を述べるのが大切だと思います。

とにかく、男性社会よりの考えで成り立ってきた社会ですので、どんどん変えていかれたら良いと思います。

千曲市の政策にしても掲げている事とやっている事がちぐはぐで、納得いかない事もあり、でも、声が届くところもなく・・・。一部のみの計画なのだと思います。

●男女平等は必要であります。

●現在は、まだまだ育児、介護は女性にまかせきりになっている家庭が多いと思います。収入減等の問題で、非常に難しい面がありますので、行政での支援が大切かと思っています。

●「男女共同参画」についての啓蒙活動の大切さを認識すると同時に、制度面の充実を期待する。

●男がもっと意識して行動すべきである。

●育児・家事を男女平等に！と言われても、実際は中小企業に勤務している夫では無理です。まわりの上司、同僚の態度が育休を取れるような雰囲気ではないです。

40代の夫は、親に「育児も家事もやる」とは教わずに育っています。なので、義母も夫にはやらせません。・・・というか夫が動きません。やはり、子どもの頃から両親が分担して家事・育児をする姿を見せることが大切かなーと思い、自分の子ども（息子）にはいろいろ一緒にやらせています。

友人の話ですが、息子が嫁と一緒に家事をやるのをよく思わない義母もいるようです。なので、親世代の考え方も変える必要があるのかなーとも思います。

●社会で活躍したいと願う人が、活躍の場を狭くされる社会であってはならない。小さな子どもがいたり、介護が必要な家族がいたりした場合、家族内でのやりくりだけでは、どうにもならない事もある。短時間勤務（給与が減っても）の制度など、様々な方法が活用できれば良いと思う。それが、「女性は・・・」と広報される事が、女性に対する差別のように感じる。男性、女性それぞれやりたい事ができるようであってほしいと思う。

現在、活躍したい女性が、活躍しづらいところもありますが、女性の中にも都合よく、面倒なところから逃げている場もあるように思う。

●今の時代に”男と女”という区別が必要なのかと思うことが多々あります。しかし古い考えを払拭する気がないのも事実。特にお偉い方々ほど。

女性として、今後管理職等につきたいかと言われれば、家庭をおろそかにしてまで、自分が自分の時間を持てなくなるまで働きたいとは思えない。管理職にこだわらず、この社会は、子育てしている女性にとって働きづらい環境でしかない。

何か変わってほしい・・・と思うけれど、きっと変わらないんでしょうね。

●私たち年齢では、昔からの家風、決め事が各家庭にあり、今の時代のように思うがままに行動する事ができませんでした。今は、若い人たちが、自分の思った事に対し、意見、行動ができることが本当に良い事と思います。

私たちとの時代の差かも知れません。

●女性の就労と活躍が大事な課題であることに異論はないが、逆に「お母さんになるのが夢」という人を否定するようなことがあってはならない。

●近年、男女平等であるべきと叫ばれているが、真の平等とは存在するのだろうか？男性・女性の持っている個性があるはずで、お互いにそれを認め合い、譲り合う気持ちが必要だと思う。

従来 of 女性職場に男性が進出したり、その逆もある訳で、男女の能力にさしたる違いはなく、お互いが切磋琢磨していくことが寛容と考える。

●男女問わず、子育て・仕事・介護、皆が必ず経験するもの。国、社会の全面協力を（良き方向に）願います。

●知らないことが多くておどろいた。

●私の母が亡くなって、とても男女差別と思ったことがありました。年金制度です。62才で亡くなり、父の年金の話を聞くと少しばかり戻ってきただけとの事です。亡くなった後、女性は遺族年金は支払われず・・・。男性が亡くなると女性は遺族年金が支払われるシステム、これはやっぱりおかしいと思います。みんなが年金を平等に払っていて、男性だって女性側がいなくなれば大変なのに、絶対におかしい。男女平等と言っているのに、一番大切な部分が変わらない。年をとって生きていくのはとても大変な事なのに！！

60代、70代、80代の男性は、「男子厨房に入らず」と育ってきた人たちです。できる事が限られます。女性の助けが必要なのに・・・。

男女平等になる時代なんて来るのでしょうか？疑問に思う日々です。

●男女共同参画社会基本法について、大変申し訳ありませんがよく知らないです。この法律を勉強することから進めていきます。

●多様な個性（性別、障害の有無を含め）が認め合える社会が理想です。法律、条例、計画について無関心であったと思い知りました。もっと身近になるよう啓発していただければと思います。

●より良い社会づくり、まちづくりを常に意識して生活していれば、何が必要なのか見えてくると思う。自分自身、家族経営の飲食店なので、仕事・家事・育児・介護までほとんど女性が担う部分が多く大変です。

外に目を向ける時間が無いのが現実です・・・。

なので、結婚して、子育てしながらでも社会へ参加して活躍できる女性が増えていくことを願います。

良い実現できる政策をお願いします。

●女性の意識が高まらないといけないと思う。そのために何をすべきか、これが問題だと思います。

●職場での男女平等の取り組みは、ある程度進んでいると思うが、地域の活動ではまだまだ男性中心（特に高齢の方）であると感じます

●議員や審議会委員の数について 男女平等→単なる数あわせだけならナンセンスと考える。

●地域の当番制の役でも女性は「こういうことは男性で」という考えがあり、結局は男性が選ばれる。

仕事においても「これは男性が・・・」という認識を持つ女性が多く、セクハラになることを恐れ、男性が行なう。

最近、草食男子と呼ばれて久しいが、女性を守る制度が多くなり、それに傘さしている女性が多くなってきたと感じる。女性に対しての教育も必要と考えるが、いかがか？

この男性社会をつくりあげたのは、大奥において男性をあやつる女性たちがつくりあげたものではないだろうか。

●無作為に1,000名を選んだそうですが、その中に私が入ったことが少し嬉しい気持ちになりました。それは、特別に選ばれたことが嬉しいのではなく、アンケートが男女共同参画についてだったからうれしかったのです。私は、今でも数少ない育児休業取得経験者の一人です。数年前8か月の育児休業を取得しました。そんな私がアンケートに答えさせてもらえるということが嬉しかったのです。

そんな思いを持ちながら、アンケートに答えさせてもらいました。男女共同参画の理想としている社会の実現には、男性の認識の変化が必要と言われますが、男性の認識の変化を受け入れる側の女性の意識の変化も必要だと思います。つまり、社会全体の認識が必要ということになりますが……。

男性の中には「イクメン」と呼ばれる育児に参加する意識の高い人が多くなっていますが、依然として周りの人たちは、そんな人たちを特別に見がちです。会社から早く帰ったり、子どものお迎えに行ったり、病院に連れて行ったり。夕飯を作ったり、参観日などの学校行事に出たり、PTA活動に参加したり……。お母さんがやるものという意識を持っている人が断然多い気がします。だから、そういうことをしたいと思う人でもやりづらいです。男性がそういうことをしようとしてもまわりがなんで男性がするの？みたいな雰囲気があります。男性も女性も関係なくそういう人が多いです。

男性も女性も働きやすい社会にするためには、自分も含めてですが、男女問わず意識改革が必要な気がします。

●自分も高齢になり、今は迷惑かけないように身体を健康に保つことが一番かな。市のボランティアにはもう13年続けているのも仲間の助け合いなどがあり続けられていると思います。

これからは、若者たち、若い主婦たちの活躍のためにも市、国の援助が大切だと思います。法令、条例等についても知らない事が多く、もっと勉強しないといけないと感じました。

●若いお父さん、お母さんが平等に働き、家事・育児もできるといいですね。

私たちの時代とは違い、女性も外に出ています。皆、男女協力してやってほしいです。

●「男女共同参画」について、普段からほとんど見聞しない。

●法令、条例等のアンケートでは、はっきりと内容までわかっているものがなかったことにびっくりしました。自分自身でももっと関心を持たなければいけないと反省しました。

●子育てをしている間、我が家では子ども中心でTVもNHK教育（朝のみ）、アニメなどしか観ておらず、ニュースや新聞も見ることなく毎日が過ぎてしまっています。法令・条例等のアンケートで知らないことが多くて驚きました。

男女共同参画……。とても大切なことであると同時にとても難しくあるものだと感じます。

●男性50%女性50%と同じ土俵での話し合いができる環境を作ることが必要ではないかと思います。それができてからがスタートだと思っています。

●千曲市に越してきて、近所の年配の男性から「引越ししてもあいさつにもこない」と何回も言われたり、子どもはまだかなど心ない言葉に悲しくなった。

地域の集まりでも、年配の男性ばかりで女性が参加するのは無理だと思う。

特に、年配の方の意識が変わらないと男女共同は難しいと思う。

千曲市は、子どもの一時預かりの施設が少なすぎる。失業中で仕事を探しているが、ハローワークに行くにも、面接に行くにも誰にも子どもを預けられず、本当に困っています。

●地域の育成会、公民館、区の長をもっと女性に受けてもらう取り組みを市で発信してほしい。

同じようなことだが、趣味のサークルとかも圧倒的に女性が多くても、少ない男性から責任者（長）が選出される。風潮かもしれないが、ここら辺から開拓しなければならない。地域全体が保守的に感じられる。

●まだ、アルバイトしかやってきてないが、管理職の社員は男性しか見たことがない。男らしくや女らしくみたいな習慣（？）みたいなのがまだある。そういう考えが男女差別化の元になっていると思う。

●男女の体の仕組みは違うので、すべて同じとはいきませんが、男女の役割を固定する考え方は、時代の変化とともに変えるべきだと思います。

●条例や計画について「そんな名前、生活のどこにも出てこないんですけど？」というくらい実体を知らない（周知されていない）ものが多かったです。これって、行政はやってるつもりだけど・・・っていう奴ではないのかな？と思いました。本当に有効な政策ならば「こういう政策があって助けになるのです」と勝手に広まると思います。

もしも本当に男女平等が実現できているのであれば、片親家庭であっても「安心して子育てができる」だろうと思います。現実はどうでしょうか？片親どころか、両親がいても「子どもを持つことができない」社会ですよ？役員に女性が何人いれば良いとかという話ではなく、「生活できない」レベルの話なのに、なんだかずれてるなーと思っています。

パートしか用意されていないのに何か活躍だよってのが、女性の本音じゃないですか？

●まだ男女共同参画に、古いしきたり、慣習が残っているため、女性の参画が遅れていると思う。

女性の持つ能力をもっと生かせる社会にしないといけない。

●法律や条例を知らないという事は、男女共同参画は浸透していないという事でしょう。

●普段生活している中で、男女の不平等を感じることはない。でも、子育てに関して、男性がもっと積極的にかかわっていけるような社会の雰囲気や、制度を充実させいてく必要があると思う。

●その人、その家、みんな違う。それぞれの家のやり方でいいのではないのでしょうか。男だから女だから、どうでもいいのでは。どちらかができる方が行なえばいいと思う。

「男女共同参画」すぐには変わらないし、変えるつもりもない。

育児も今は男性も参加しているし、介護、家族が力を合わせないと一人ではどうしようもない。他人だと許せる事も、身内だと怒ってしまうし、手を上げる事もあると思う。そんな時、助けて欲しい相談できる人（窓口）があればいい。

行政もだいぶ充実してきていると思う。

●女性がもっと表舞台で活躍できる社会にすべき。

我が職場、表向きは男女平等をうたってはいるが、本音は・・・。

女性は脇役しかさせていない。最前線の難しい仕事は、全て男の役割、男女共にそのような意識しか持っていない。

かけ声だけ、社会全体がそのようになっていかないと、なかなか改善されない。

●いつの時代も男は男らしく、女は女らしくありたい。役割分担は、その家庭の事情で異なると思いますが、男も女も子どももできる時に、できる事を、できる人がやるようにしたい。

社会でもレベルのある女性は、それなりに活躍してもらいたい。

でも男の人の上に立ってはならない。そんな時代に生まれた私です。

●人間としての共同、平等はとても大事で必要な事と考えていますが、女性と男性の性異。人間性の違いについての教育が非常になされていなく、今日の社会の姿を心配しています。

共同、平等のみばかりが前面に出されている感があり、そのひずみが男性、女性に対する無理解、ストレス、社会のルールなどに表れていると思います。

共同参画と並行して、ぜひ力を入れて教育していただきたい。